



発行所
 広島県連合小学校長会
 事務局
 東区光町1-11-5
 地産ビル1003号
 電話 (082) 263-6381
 発行者 山田幸治

多様な共創で持続可能な学びの場の実現を ～地域と学校の協働体制の構築に向けて～

本校では生活科や総合的な学習の時間に、地域の特色を生かした農業体験学習を行っている。地域の方々の指導のもと、低学年は野菜、中学年はぶどう栽培、高学年は米づくりに取り組む。この写真はぶどう収穫時の様子で、経験のある4年生が3年生にやり方を教える。学校に隣接する2aあまりの田と2本のぶどうの木は、毎年引き継いだ学年が世話をし、年間を通して協働的な学びの場となるが、課題はカビの発生であったり、獣害対策であったり、その年の状況によって変わることが多い。経験豊富な地域の方々の知恵を借りながら、自分たちができることを考え、工夫し、試してみるという共創体験を通して、児童は協力すること、継続することの大切さに気付く。

令和7年度から始まる中学校区のコミュニティ・スクールに向けて、4つの町内会連合会と5つの小中学校で準備会を立ち上げ、5月から学校・地域・保護者の代表が協議を始めている。そこで期待されるのは、地域に愛着をもち地域に貢献しようとする志をもった人材の育成であり、持続可能な学びの場（地域社会）の実現に向けて、地域とともにある学校が担う役割は大きい。
 （三次市立田幸小学校・藤井 俊介）

事務局日誌

- 4月6日 会計監査 (事)
- 4月6日 第一回幹事会 (東区)
- 4月17日 県公連理事會 (立町)
- 4月19日 第一回理事會 (東区)
- 4月25日 第一回各委員會 (東区)
- 4月25日 第二回幹事會 (東区)
- 5月8日 県公連評議員會 (立町)
- 5月13日 県公連不祥事防止対策特別委員會 (立町)
- 5月16日 第75回県連小総会 (立町)
- 5月23日 全連小理事會 (東京)
- 5月24日 全連小総会 (東京)
- 5月29日 県公連専門委員會合同會議 (立町)
- 6月3日 全連小事務担当者連絡協議會 (立町)
- 6月4日 第三回幹事會 (東区)
- 6月4日 教育研究全体委員會 (東区)
- 6月10日 県公連理事會・評議員會 (立町)
- 6月13日 全連小合同部會・合同委員會 (東京)
- 6月14日 第一回総務會 (東区)
- 6月14日 第一回理事會 (東区)
- 6月17日 県公連不祥事防止対策特別委員會 (立町)
- 7月2日 全連小広報担当者連絡協議會 (東京)
- 7月2日 第二回理事會 (東区)

※会場の略号

(事) 県連小事務局

(東区) 東区民文化センター

(立町) 広島経済大学立町キャンパス

多様な共創で持続可能な学びの場の実現を	1	委員会報告	3
事務局日誌	1	朝会講話	5
会長あいさつ	2	県教委だより	6
広島県連合小学校長会総会・研究大会	2	随想	6
退会校長紹介・新入会員紹介	3	あとがき	6

会長あいさつ



七十五周年を迎え
ワンチームで日本一の教育県の実現を

会長 山田 幸治

広島県連合小学校長会は、昭和二十一年に広島市に原子爆弾が投下され、厳しい生活環境の中で、市民・県民が一体となり復興への努力を続け、教育現場にも徐々に新しい時代への光を見出し始めた昭和二十五年五月二十三日に会員六七十名で、発足し、今年度で節目の七十五周年を迎えています。

昭和、平成、令和と時代が変遷する中で、平成十年には、当時の文部省からは正指導を受け、本県教育全体を根底から見直し、教育の「中立性」と「公開性」を掲げ、是正の徹底と教育改革を推進し、県民から信頼される公教育の確立に努めてきました。平成十三年には、広島県公立学校長会連合会を設立し、広島県教育の発展を更に力強く進める決意を新たにしました。このような先輩方の苦労や努力により、広島県では、校長を中心とした、組織的な学校経営を行うことができています。

令和に入り、新型コロナウイルス感染症拡大という危機的な事態に直面しました。不安や恐怖を感じながらも、子供たちの未来のために、学びを止めないという強い覚悟で、工夫をしながら教育活動を推進してきました。

また、令和三年度から広島市小学校長会が、県内において広島県連合小学校長会と組織上分離し、県連小の組織自体が大きな転換期を迎えました。このような中で、学校では、いじめや不登校への対応、特別支援教育の充実、ICTの活用など、諸課題の対応に悩むことがあります。そんな時こそ、校長先生方がワンチームとなり、絆を強くし、悩みを共有し、英知を結集し、課題を克服していきましょう。

さて、新年度に当たり、次の三点について共有したいと思います。まず、「校長が元気でいること」です。四月一日に学校に行くと、放課後、児童会の新一年生がいましたので、「私がだれか分かりますか。」と聞きま

した。すると、答えない新一年生の横にいた三年生が、大きな声で「いつも元気のいい山田校長先生です。」と答えてくれました。その言葉がすごく嬉しくて、この一年間も元気で明るい校長でいようと新年度の誓いを立てました。校長が、空元気の時もあるでしょうが、元気で明るい姿を実践しましょう。

二つ目は、「不祥事の根絶に強い覚悟で取り組むこと」です。各学校では、不祥事防止の取組を進めています。昨年度も児童生徒に対する性犯罪・性暴力が発生するなど、不祥事の根絶には至っていません。児童生徒に対する性犯罪・性暴力は、「魂の殺人」とまで言われ、被害に遭った児童生徒を一生苦しめます。校長として、自らを律し、不祥事を自分事として考え、職員に教育公務員としての自覚を常に促し、職員へのストレス軽減や不祥事を生起させない環境づくりに取り組み、不祥事の根絶に努めましょう。

三つ目は、「人材育成」です。教員の年齢層に偏りがあり、人材育成は急務です。私たちも育てていただきながら、今、校長になっていきますが、「あの校長先生に出会ったから」「あの校長先生と一緒に働いたから」という校長先生がいるのではないのでしょうか。私たち校長は、職員の人生をも左右する存在になりうるという自覚のもと、職員の特性や指導力を見極め、職能成長させるとともに、教員という職業に誇りを持つる人材を育成しましょう。

結びに、広島県内の小学校長先生方がワンチームとなり「広島で学んで良かったと思える広島で学んでみたいと思われる日本一の教育の実現」を達成し、児童や教職員、保護者や地域の方の心にいつまでも残る校長となることを願って挨拶とさせていただきます。

(呉市立広南小学校)

第75回 広島県連合小学校長会総会・研究大会

と き 令和6年5月16日(木)
と ころ 広島県民文化センター

- 1 開会行事
- 2 会議
- 3 研修 「日本の教育をリードする、
広島県の小学校長に期待すること」
広島県教育委員会
乳幼児教育・生涯学習担当部長(兼)参与
重森 栄 理 様
- 4 講演 「元気な学校を創りましょう！」
前全国連合小学校長会会長
世田谷区立下北沢小学校長
大 字 弘一郎 様
- 5 閉会行事



退会校長紹介

Table listing members of the Education Investigation Committee, organized by municipality (e.g., 広島市, 尾道市, 廿日市市, 大竹市). Each entry includes the member's name and their affiliation.

委員会報告

教育調査委員会

委員長 石原政信

本委員会は、広島県内公立小学校の実態把握とその課題について整理し、これからの課題の改善・充実のための根拠資料を作成することを主たる目的として活動する。本年度は昨年度の検討内容を踏まえ、調査項目の精選、調査方法の合理化を図るとともに、現場における教育諸条件の整備・拡充に資する資料とすべく、次の活動を行うこととしている。

一 活動内容

令和五年度の調査項目を継承し、県内小学校における現状と課題にかかわる調査として、「白書の調査」を作成する。さらに喫緊の課題に対応する調査として「特別調査」を実施する。

調査結果の集計、分析を実施、課題の整理を行い、課題改善のために必要なことを提言としてまとめ、県連小総務会並びに理事會に提出する。また、県教委との意見交換会で提起する。

○ 調査項目、調査方法等について、現状認識とのずれや実態に合っているか等について検討し、次年度の教育調査項目案を作成する。

二 活動計画の概要

- 四月 各委員選出・活動方針・活動内容の検討・活動計画確認、調査項目の検討、調査方法の確認
五月 調査実施
六〇七月 調査分析役割分担、集計・結果のまとめ、考察内容の検討、報告書案の検討
八月 報告書内容の最終検討
九〇十月 「教育調査」報告書の作成
・発行・配布、県教委への要望書作成
十二月 次年度実施調査内容等の検討、申し送り事項の確認
一月 次年度の方向性の確認
(尾道市立日比崎小学校)



人事給与委員会

委員長 阿部貴志

本委員会では、第一回（四月）の人事給与委員会において、昨年度の検討事項や申し合せ事項等を踏まえ、本年度の役員を選出し、活動方針・活動計画等を決定した。
その主な内容は次のとおりである。

一 活動方針

県連小の活動方針を受け、次のように設定した。

○ 明確な人材育成方針・体制のもと、教職員としての使命感や倫理観、実践的指導力などの向上に努める。

○ 教職員の職責に相応する適正な処遇が得られるように努める。

教育改革の趣旨に添った校長を中心とした学校経営が進むよう、とりわけ、本委員会においては、人事・給与面で裁量の幅が広がるよう努力していきたい。また、市町の教育委員会と校長会との連携を深め、より望ましい学校経営に寄与していきたい。

二 活動計画の概要

四月

○ 役員選出・活動方針・活動計画・研修内容についての決定

六月～八月
○ グーグルフォームを活用した実態調査の集約・分析・考察・懇談会資料の作成
十月～十二月

○ 人材育成等に係る研修会

○ 次年度実態調査の検討

○ 本年度の活動のまとめと次年度の課題についての検討

○ 児童の転校についての調査依頼
一月

○ 次年度活動方針・活動計画の作成

（呉市立昭和西小学校）

教育研究委員会

委員長 花田 修

本委員会では、研究主題「自ら未来を拓きともに生きる豊かな社会を創る日本人の育成を目指す小学校教育の推進」、副主題「夢や志をもち 他者と協働して 主体的に新たな価値を創り出す子どもを育成する学校経営」に基づき、今年度の活動方針、活動計画を次のように決定した。

一 活動方針

研究主題の具現化に向けて、五つの研究領域、十の研究課題を設け、さらに研究の視点を明確にして、各組織団体に於いて積極的に研究実践を行う。

その成果を広島県連合小学校長会研究集録『もみじ』に掲載し、研究の一層の深化を図る。

二 活動計画の概要

十六地区の各組織団体で行われる研究実践の交流の場として、年に三回の全体委員会を行う。特に今年度は、各委員が校長として学校課題の解決に向けて、具体的に実践している取組を交流することで、校長として果たすべき役割について研修を深める。また、『もみじ』作成に向け、小委員会の開催を予定している。

本年度の主な研究大会として、第七十六回全連小研究協議会徳島大会（十月二十四日から二十五日）、第七十一回中国地区小学校長会教育研究大会山口大会（十一月八日）、第二十四回広島県公立小学校校長会連合会研究大会（十二月二十五日）が開催される。委員の皆様積極的に参加をお願いしたい。

なお、次年度は、広島県連合小学校長会北部地区大会が庄原市で開催される予定である。会員は一層の研鑽に努め、県民の負託に応えたい。

（福山市立御幸小学校）

広報委員会

委員長 松下 篤

本委員会では、第一回（四月）広報委員会において、役員の選出を行い、

令和六年度の活動方針、活動計画を次のように決定した。

一 活動方針

○ 県連小・各機関の会議・会合の審議決定並びに実施状況について迅速的確に伝達する。

○ 委員の意思や、校長会の活動を収集伝達し、交流を図る。

○ 会員及び校長会に、職務遂行、資質向上、学校経営充実に生かせる情報を提供する。

二 活動計画の概要

① 会報二回

（第二九四号・第一九五号）の発行（校長にはメール配信とする）
会報には、トピックス、あいさつ、退・新任校長紹介、委員会報告、地区校長会報告、学校経営、朝会講話、県教委日より、随想などを掲載する。

（七月・十二月）

② 研究集録「もみじ」（令和六年度版第三十五号）の発行
（三月）

③ 速報の発行・配付
・県連小速報 年四回程度

・全連小速報 年数回程度

④ 全連小「小学校時報」への寄稿
テーマに従い執筆依頼・連絡などをを行う。
（東広島市立造賀小学校）

朝会講話

「挑戦」「感動」「感謝」を合言葉に

『自ら考え 共に輝く』をめざそう

会員 梶原美由紀

今年度の合言葉は、「挑戦」「感動」「感謝」です。

「挑戦」とは、自分の目標に向かって迷うことなく行動することです。失敗しても構いません。自分が決めた事、自分のやりたい事に、どんな挑戦していきましよう。一人ではできない時には、友達に声をかけて友達を巻き込みながら、勇気をもって挑戦してほしいと思います。人に力を借りながら、人に力を貸しながら、お互いに学び合うこと、お互いに伸び合うことを大切にしていきましよう。

「感動」とは、自分が勇気をもって挑戦することで、「できた」「頑張った」「楽しかった」などと実感をもつことです。自分から行動を起こした、本気で頑張ったという思い、本気で挑戦することではか得られない感動を是非味わってほしいと思います。

最後に、「感謝」です。私たちがいろいろな事に挑戦できるのは、周りのたくさんの人たちが力を貸してくださるからです。周りの人たち、周りの環

境にしっかりと感謝の気持ちを持ちましよう。感謝の気持ちを強く持つことが、きつとまた自分の新しい挑戦に繋がると思います。

一年間を通して、どんな自分になれたらよいか、なりたい自分にどのような近づいているのかなど、見通しをもったり振り返りをしたりすることも大切です。一つ一つのことに丁寧に向き合いながら前に進んでください。

「挑戦」「感動」「感謝」の三つのことを大切にし、旭小学校の学校教育目標である『自ら考え 共に輝く』をみんなで実現していきましよう。

(福山市立旭小学校)

「大切ないのち」

理事 小林伸二

新しい一年が始まりました。今日はとても大切な話を二つします。一つは「学校で一番大切なことは何か」ということです。

一番大切なことです。これは去年もこの場で話をしました。そして他にもいろいろな場で話をしていますから分かる人もいるかもしれませんね。

一番大切なのは、「いのち」です。皆さんは、命をいくつ持っていますか。そう一つです。命は、一人に一つ、かけがえのないものです。

ですから、命は、全力で守らなければなりません。本当に大事です。その命を傷つけることは絶対に許されない

ことです。皆さんはご家族からいただいたその命を大切にしてください。友達の命も大切にしてください。校長先生も他の先生方も全力で皆さんの命を守ります。

二つ目の話はもう一つ大切にしていほしいものです。

それは「言葉」です。これも一年前にお話をしました。言葉というのはとても大切なものです。

言葉の使い方次第では人を傷つけることもあります。人を悲しい気持ちにさせることもあります。今年もこれまでに以上に、言葉を大切にしてください。

言葉を大切にするには、自分やまわりの人を大切にするにつながらります。

自分も友達も大切にすることによって、自分も大切にすることができます。

さあ、新しい学年で一年間、津田小学校の校訓にもあるように「強く 正しく 明るく」充実した学校生活を送りましよう。

(廿日市市立津田小学校)

「パス&ゴール」大作戦!

会員 田丸 栄

今年度の神石小学校の合い言葉は、「パス&ゴール」大作戦です。

「パス」とは、自分も持っているボールなどをだれかに渡すことです。その時に、パスを受けてくれる相手のこと

を信じなくてはパスが出せませんね。そして、自分が全力を出していないと、パスをもらった人も力を出し切ろうという気持ちが出てきませんね。

この「パス&ゴール」ということを学校生活に置き換えるとうなるでしょう。

まずは、自分がしたいことはこれだ。これをする学校が楽しくなるはずだと、アイデア・知恵を出して行動してみてください。昨年度の三・四年生が、八尾城を多くの人に來てもらえる魅力ある場所にしようと考え、丸太を使った遊び場を作ったように。

次に、まわりの人の考えをよく聞いて、自分なりの考えを加えて行動することです。応援したり、少し違った考えを言ったりすることも大事なことです。それが、パスをもらった人がすることです。

このように、自分たちのアイデア・知恵を出し、力を合わせて挑戦すること、が、「やってよかった」「楽しかった」という最高の「ゴール」に近づくことだと思います。

みなさんが考え、判断したことを先生たちは応援します。それは、学校の主役はみなさんだからです。先生たちは、みなさんに「まかせます。」それが、先生たちから、みなさんへの「パス」です。さあ、「まかせられた」みなさん、今年度の「ゴール」に向かって最後まで走り切ってください。

(神石高原町立神石小学校)

